



永平寺町

第28号

平成24年10月19日発行

議会だより



健康福祉施設 さまざまな視点から質疑・提案 ②ページ

新消防庁舎 どうなる!?! ③ページ

そこが聞きたい! (議員16人が一般質問) ⑧ページ

表紙

吉田地区更生保護女性会
(最終ページに紹介記事掲載)

寺開発センター横へ

2階体制に!?

議会での意見

- 新設すべき！耐震化しても耐用年数は長くない
- 生命・財産を守る拠点の消防庁舎は一戸建てで整備すべき
- せめて救急車だけでも2階体制にできないか
- 中部縦貫道路及び機能補償道路へのアクセス道路の構築が課題
- 町民の不安を解消し理解を得るため、地区ごとの住民説明会を早期に計画し、懇切丁寧な説明を

など

【新消防庁舎】平成28年5月末開所 (予定)

開発センター耐震工事	平成26年度
消防庁舎 増改築工事	平成26年度
デジタル無線整備工事	平成26年度 (移行：平成28年5月末)
消防指令センター整備工事	平成26年～平成27年度

議員からのすべての提案が通っているわけではありませんが、地域の活性化に直結する特産物の商品化とブランド化は譲れないところです。その他、送迎バスや開館時間の改善・充実も強く訴えてきました。また、隣地に「道の駅」の実現が期待できることから、



建設中の健康福祉施設

今、議会では来春のオープンに向けて来客数の目標（年間六万六千人）を必ず達成するよう、運営のあり方について厳しく審議し、前向きに多くの提案を出しています。昨年は業者の募集要項等について85の質問・提案をしています。

早い時点で、その準備が必要ということも主張しています。開湯と同時にCAMU湯の閉鎖は行政の既定の方針ですが、やすらぎの郷の魅力が半減することではないのかという声も議会にはあります。課題は尽きません。

健康福祉施設（永平寺温泉）
来春オープンに向け、さまざまな視点から

質問・提案

新消防庁舎 永平寺

住民の安心感を保ちながら、消防力をどう強化するかが課題となっていた消防庁舎統合問題。町長は新消防庁舎として永平寺開発センターの一部を活用し、現在の一本署一分署から、一署体制とする方針を表明しました。

町長は9月議会提案理由で「近年の災害形態は複雑多様化しており、消防業務の専門化、救急業務体制の強化、災害時の初動態勢の強化が求められ、現在の体制の一元化を図りたい。種々の角度（7ページ特別委員会報告に掲載）から検討した結果、新しい消防庁舎は永平寺開発センターの一部を活用し、高機能指令台の整備、車庫等は増築することが望ましいとの結論に至った。消防無線のデジタル化が、全国一斉に平成28年5月に行わ

9月議会にて 町長表明

れる。これに合わせ、平成25年度に実施設計26・27年度に永平寺開発センターの耐震補強工事と、車庫等の増築工事を進める」と述べました。これを受け、定例議会の一般質問で何人かの議員が質疑・提案を行い、異論も出ました。

今後も特別委員会審議等で議論を深め、一署体制には、町民の理解が大前提となるため、11月開催予定の「議会と語ろう会」で、町民の皆様の見をいただき大いに参考にしたいと考えています。



『議会と語ろう会』(← P25に、日時・テーマのご案内を掲載) に来てください!

永平寺町議会議長 伊藤 博夫

皆様におかれましては平素より永平寺町議会に対しましてご指導ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。議会では「開かれた議会」「行動する議会」「提案する議会」の3本柱を継承し、二元代表制を掲げ、議会基本条例を遵守して議会運営に取り組んでおります。

11月に開催を予定している「議会と語ろう会」では多くの町民に参加していただけるものになるよう努めていき、その中のご意見等を議会運営に反映させ、町民の代弁者として活動していきます。また、インターネット活用により町民の誰もが議会活動や情報を得られるようにするほか、議員間の業務の効率化と事務経費の削減を図ります。

今後とも、町民の意見に耳を傾け、町民本位の感覚で活発に議論する議会にまいります。



平成24年 第4回 定例議会報告

平成24年第4回永平寺町定例会は、9月5日から19日までの15日間開催され、7議案を可決、また意見書3件を採択しました。その内容は次のとおりです。
尚、永平寺町人権擁護委員に奥野政裕氏（松岡西野中）の再任に同意し、閉会しました。
議長 伊藤 博夫

第4回定例議会議案

議案第52号 平成24年度一般会計補正予算について	可決	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦	適任
議案第53号 平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	陳情第6号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書提出の要望	採決
議案第54号 平成24年度介護保険特別会計補正予算	可決	陳情第7号 平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算	採決
議案第55号 防災会議条例の一部を改正する条例の制定	可決	陳情第8号 印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定	採決
議案第56号 災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定	可決	発議第8号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書提出	可決
議案第57号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定	可決	発議第9号 地球温暖化対策に関する「地方財源確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	可決
議案第58号 健康福祉施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決	発議第10号 地方財政の充実・強化を求める意見書	可決

議案への賛否一覧 議席順に掲載（○賛成 ×反対 一欠席 □退席）※議長（伊藤博夫）は採決に加わりません

	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	河合	上田	酒井
議案第54号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第6号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第8号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等11件については全員賛成です。

議案への賛否討論

議案第54号 介護サービス勘定の廃止について

反対

金元 直栄

介護サービス勘定は、地域包括支援センターまで社協に委託してしまった現在、本町が高齢者の実態も含め要支援者等に接する唯一の窓口となっている。この会計までなくしてしまうことは認められない。

賛成

長岡千恵子

地域包括支援センターの業務が永平寺町社会福祉協議会に委託され、町は今まで以上に連携体制を強化し、情報を共有するものと考えます。
したがって、介護サービス勘定は不要と考え賛成とします。

陳情第6号
発議第8号

北朝鮮による日本人拉致問題の 早期解決を求める意見書提出について

反対

金元 直栄

拉致問題の早期解決を求めることには異論はないが、国に対する要望の第一に“被害者等の安全を確保する手段を講ずる”とあるが、武力でとでも言いたげな表現は問題。さらに“追加制裁の発動”では協議の窓口すらなくすることになる。小泉首相当時は話し合いの成果があった。窓口を閉ざす内容の陳情や意見書の提出は認められない。

賛成

川崎 直文

わが国にとって拉致問題の解決が最重要課題で、現在の膠着状況を打破しなければなりません。
新たな現場調査も含め早期解決に全力で取り組むこと等3つ項目を要望する当意見書の提出に賛成します。

永平寺口駅周辺整備事業等

可決

総額 3288万2千円

当委員会に付託された議案第52号から第54号までの各会計補正予算案3件は、原案の通り可決した。

まず、平成24年度一般会計補正予算の主なものは、永平寺口駅周辺整備事業で用地取得費と移転補償費2053万9千円、住宅用太陽光発電整備に対する補助金331万2千円、押谷川、切谷川に砂防えん堤を整備するための砂防指定

地申請業務委託料176万4千円などで、総額3288万2千円であった。

また、後期高齢者医療特別会計補正予算は、高齢者の人間ドックと保険料の還付金を増額し、介護保険特別会計補正予算は、サービス事業勘定予算の廃止に伴う清算金を保険事業勘定予算に組み入れるものであった。

詳細な審議の一部は次の通りです。

企画財政課

問 永平寺口駅前ロータリー整備に伴う京福バス車庫の移転で、移転先は決まったのか。

答 地権者、京福バス、町の三者で協議しているところで、最終段階にきている。



京福バス車庫

総務課

問 自主防災組織が整備する防災用資機材への補助事業が増額となっているが、主にどんなものを整備しているのか。

答 以前は初期活動に要するものだったが、現在は住民が直接活用する非常時持出袋やヘルメット等を整備している。

環境課

問 太陽光発電設備への補助金は、これまでどれくらい行っているのか。

答 今まで150件を超える補助をしている。温暖化への関心も高まり、今後も普及していく。

商工観光課

問 永平寺門前観光協会が作成する散策マップですが、リピーターを求めるため門前だけではなく、少し地域を広げては。

答 県の補助事業であり、門前観光協会が事業主体なので、一度協議してみる。

建設課

問 以前に土石流調査で防災マップを作成したが、その調査結果を今回の砂防指定地調査に活用できないのか。

答 23年4月に作成した土砂災害ハザードマップの時は、山地の傾斜等を調査して危険区域を指定した。今回は、堰堤から河川までを調査することになるので、活用はできない。

生涯学習課

問 緑の村ふれあいセンターの多目的ホール内電動式移動観覧席が故障したが、どれくらい経過しているのか。

答 19年が経過している。毎年点検しているが、7月に急に動かなくなった。



ふれあいセンター多目的ホール

総務常任委員会

委員長 長谷川治人

当委員会は9月18日に全委員出席のもと開催し、総務（総務・消防）関係の今議会に提案され付託された案件について、慎重に審議しました。

○議案第55号

永平寺町防災会議条例の一部を改正する条例の制定——国の法律が一部改正されたので、本町防災会議条例を国に準じて一部改正する。

○議案第56号

永平寺町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定——前議案55号に同じ。

○議案第57号

永平寺町火災予防条例の一部を改正する条例の制定——近年の電気自動車の普及により、設置が進められている電気自動車の急速充電設備

からの火災を予防するため、国の準則に従い本町火災予防条例を改正する。

○陳情6号

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書提出

○陳情7号

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実にする仕組み」の構築を求める意見書の採択

○陳情8号

地方財政の充実・強化を求める意見書採択
※以上、議案3件、陳情3件は、採決の結果、委員会全員により採択です。

○諮問第2号

永平寺町人権擁護委員候補者の推薦——平成24年12月31日に任期満了となり、行政から次の者を推薦したいとの報告です。

住所 永平寺町松岡西野中第28号37番地
氏名 奥野 政裕

いじめの実態は!?

1、いじめ問題について、教育長を中心に原因、周囲の状況、対処方法などを協議しました。

2、子ども議会の公表は議事録を作成し、広報永平寺に掲載、こしの国ヶ一ブルテレビで再放送を予定しています。子ども

議会での提案が来年实现する可能性があります。

3、当初予算に計上された事業の中間報告を聞きました。



子ども議会

産業建設常任委員会

委員長 川治 孝行

理事者に対して委員からの質問を行いました。委員の中から

○大雨、豪雨時の建設課の対応は?

○全国的に堤防に穴等があり危険との報道があるが本町の状況は?

○河川の改修状況、今後の予定について

○今回予算に計上された押切川・切谷川の砂防ダムについて

○中部縦貫道、北インターに出口ができないか

○地籍調査の進捗状況

等の質問・要望があり今後の委員会の課題として取組んでいきます。

「再生可能自然エネルギー視察」

研修報告 9月24日(月) 25日(火)

石川県野々門市

水の豊富な永平寺町で再生可能エネルギー小水力発電が利用できるのか、コスト・課題・将来性について勉強しました。



石川県野々門市の小水力発電

岐阜県高山市・長野県大町市

温泉施設を併設した道の駅の先進地の取組み現状・課題を勉強しました。あわせて永平寺温泉についての今後の課題についても先進地の視点からお話をお聞きしました。

視察で得た知識は、産業建設常任委員会はもとより全議員で共有し、今後の議会活動に活かしていきます。

教育民生常任委員会

委員長 長岡千恵子

当委員会は9月定例議会に提案され、付託された案件について、9月18日に開催されました。

★永平寺町健康福祉施設の設置及び

管理に関する条例の制定について

条例などの文書には愛称名で表記してほしい。開館時間は午前9時から午後11時までの範囲でお正月の深夜営業はしない。館内でアルコールの販売は行う。入浴を目的としない入場でも入場料は必要。平日は長時間の利用も可能。など委員会で審議した結果全員一致で可決しました。

健康福祉施設 来春オーブンに向けて

温泉利活用特別委員会

委員長 多田 憲治



現在、永平寺町清水地係りで平成25年春の完成をめざし、去る7月2日、健康福祉施設永平寺温泉の起工式が執り行われ、着々工事が進められております。

今年度予算の建物建設費は電気設備も含め総額約1億9千万円です。

9月定例会議で理事者から提出された、「永平寺町健康福祉施設の設置及び管理に関する条例」も当委員会ですら十分審議し本会議で承認しました。

現在、大勢の皆さんから応募された、温泉施設の名称を審査会で選考し10月20日の「産業フェア」会場で、皆さんの意見をふまえて選考する予定となっております。

また、当温泉利活用特別委員会としては、今後、健康福祉施設の利用増や安定した経営を図るため、町内外から大勢のお客様に来て頂くことが不可欠と考えています。その対策としては送迎などの充実や、えちぜん鉄道とのタイアップ（割引券発行等）を運営業者に求めていきます。今後も契約締結に向けて、運営業者の経営・管理運営のあり方に様々な角度から提案を続けていきます。

議会活性化と 行財政改革の連動

議会行財政改革特別委員会

委員長 川崎 直文



開かれた議会・行動する議会・提案する議会の実現を目指しています。

町民の皆さんと直接対話し、多様な意見を持ち寄り、議会基本条例の下に議会改革と議会活性化に継続して取り組みます。

合わせて、厳しい財政状況の中、議会においても、行政の財政について適正な執行及び計画がなされているかを審議・推進しなければなりません。

この議会改革の実行・議会活性化と行財政改革の推進を有効に連動させ取り組んでいきます。

9月定例会前の8月に開催された委員会で課題と施策を確認し全委員が共有しました。

- ① 議会基本条例の実施と進捗把握、促進
- ② 行財政計画の進捗把握、審議
- ③ 事務事業評価システム、事業仕分けの調査研究及び実施
- ④ 議員定数と議員報酬

9月に行政が導入している事務事業評価の説明を受けました。

11月に事務事業評価の視察研修を行います。

議員定数と報酬については、町政の課題、将来の予測、または人口、面積などで決定します。議会での検討に加え、11月の議会と語る会で皆様のご意見を参考に議会で討議します。平成25年の3月には結論を出し、条例を改正します。

新消防庁舎を 集中審議

消防署統合推進特別委員会

委員長 原田 武紀



9月定例会前の8月に開催された委員会では、

① 現行の一本署一分署を一署体制に統合する。

② 新消防庁舎の位置は、永平寺支所敷地内とする。

この2点を前提に、4月に発足した消防の若手職員によるプロジェクトチーム検討内容の報告を受け、審議に入りました。

その主なものは、新庁舎については、

- ① 地理上の町の中心で、全町を距離面で均等にカバーできる。
- ② デジタル無線の基地局として最適である。
- ③ 集落や住宅が密集している国道に面し、道路アクセスが良い。
- ④ 災害情報発信にケーブルテレビの活用ができる。

等を考慮し決定しました。また、永平寺支所横の町開発センターの2階と3階を新庁舎に改修、主に事務所等を置く。更に、同センターに隣接して車庫、指令センター、訓練塔等、消防の中核機能を収容する鉄骨3階建てを増築する等でした。

議員からは、「開発センターは築40年と建物が古い、耐震化で大丈夫か。一層、全部新築する方が将来的には良いのでは」、「庁舎が遠くなる地区等もあるのでは、町民の不安を解消し理解を得るため、地区ごとの住民説明会を早期に計画し、懇切丁寧な説明を」等の意見が出ました。9月議会の審議を経て議論を深めていきます。

一般
質問

そこが聞きたい! 問&答

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

問 突然くる災害 町の対策とは

答

行動マニュアルの遵守と徹底を図る 机上の演習を実施し対応力向上

問 行政が災害対策に対し、果たすべき役割の明示化と、連動した町民の自覚『自らの命は自分で守る』を前提に、重要な任務とは。
総務課長 人命救助救済活動を最初の任務としている。次は復旧活動である。
問 災害に対し、職員、区、防災組織等が行動することになるが、現状の理解度、認識度合いは。
総務課長 職員は行動マニュアル(作成済み)に沿って任務遂行を行うとの認識。組織対応として、災害対策本部(本部長 松本町長)を立ち上げ、任務を明確にした縦割組織で対処する。
問 災害訓練で実生活実態を念頭に、避難から避難生活に至る過程等を机上演習するなり、避難訓練もすべきと思うが。



上坂 久則 議員

総務課長 毎年、総合防災訓練を実施している。今後、自主防災組織連絡協議会を立ち上げ、学区区の訓練実施を検討している。組織機能の充実を図るため、机上訓練も検討したいと思う。

問 鳥獣害対策 費用対効果は

答 現状対策で効果は十分

問 柵等で鳥獣害対策を実施しているが、費用対効果は山際の水田は飼料耕作地としては。
農林課長 捕獲数は昨年より大幅に増えている。効果はある。飼料耕作は、契約栽培が必要となります。



越前市ボランティア

問 緊急対応ができるのか?

答 突発的な事案は濃密なる協議

問 修繕費が当初予算に計上されていないので、安全にかかわる事業でも対応が遅れている。社協管理の松岡デイサービスに空調問題、猛暑の時期に空調が壊れた。委託管理の契約、解釈に齟齬があった様だが、建物に付随しているので町が修理すべきだが。
福祉保健課長 社会福祉協議会と委託管理協定を結んでいる。不動産は町、動産・付帯設備は社協が修理するとなっている。今後は、突発的な修等は、社会福祉協議会と密な協議の上、対処したい。

問 永平寺町のいじめの実態は

答 去年は1件、本町は少ない

問 いじめの実態、現状はどのようになっているのか。
教育長 子どもたちが明るい、学校の規模が小さいため、他の市町と比べてかなり少ない。去年は3件、今年度は7月末まで1件である。
問 大阪市長の橋下氏、教育委員会の廃止を唱えているが、個人的見解を。
教育長 多岐な業務がある。教育の中立性・安定性・継続性の観点から、存続をお願いする。



長岡千恵子議員

問 子ども医療費の窓口支払い0円に

答 医療費の無料化が実感できるようにしたい

問 本町の子ども医療費助成は県内で最高の内容になっていることは十分知っている。現行は、医療機関を受診した場合、保険受診料の自己負担分を立替払いし、2カ月後に行政より保護者宛に振り込まれる。これをもう少し進めて、お金の持ち合せが無くても安心して医療機関に受診できるように立替払いをしなくてもよいシステムに変更できないか。

町長 非常にいい考えだと思う。今までにも十分研究・検討してきた。県内17市町の取組がバラバラであること、医師会との関係、国保や支払基金のシステム改修があり、町単独ではできない状況にある。各関係機関と話

をしてきたが現状は難しいが、医療費の無料化が実感できるようにしたい。努力する。

問 地域組織活動育成事業補助金の支給は

答 町単独で満額交付

問 地域組織活動育成事業補助金（母親クラブ補助金）18万9千円の内、国と県の補助分が本年度よりひも付きでなくなつたが、各団体へ補助金は交付されたのか。交付されたのならその金額はいくらか。

子育て支援課長 昨年までは1クラブ当たり国と

県で12万6千円、町は6万3千円を補助し合計18万9千円を交付してきた。24年度より国、県の補助金交付は難しいとの連絡があったが、町単独で18万9千円を交付する。来年度以降は県が新たな補助事業を検討している。

問 ご当地ナンバープレート事業の進捗状況は

答 デザイン募集中

問 本年度の当初予算でご当地ナンバープレート事業が予算化していたが、進捗状況は。

税務課長 子ども議会でも質問があり、先日募集要項を全戸配布、新聞社にも投げ込みをした。デザイン募集期間は10月末まで、その後デザインを決定して、ナンバープレートの製作となる。製作期間はデザインにより異なるので交付開始は未定。デザインが決まり次第、交付開始を決定する。デザインは、選考委員をつくり決定する予定。



他市ご当地ナンバープレート

問 変更された通学路の見直しは

答 通学路の適性判断をする



変更された通学路

問 9月になり通学途中の誘拐事件が多発している。変更された通学路が遠回りになっている。見直しはしないのか。

学校教育課長 学校、保護者、警察と検討、協議を行い安全確保ができることで通学ルートを決めた。

問 交通事故だけでなく他に事件が発生している。登下校の道のりと所要時間は短くする方が事故事件に遭う可能性が低くなる。再検討を願う。

学校教育課長 6月の見直しの背景は交通量の多い危険箇所での交通事故防止のためのものでした。冬期間になると状況も変わるので、関係者と通学路が適正であるかを判断していきたい。

問

“備えあれば憂いなし”
安全・安心、町民の生命・財産を守るため
災害に対する備え、災害の起きた場合を想定した、町の体制は

答

災害対策本部を設置し、
マニュアルに沿って対応する



齋藤 則男 議員

問 警報が発令された場合の体制は。

総務課長 警報が発令された場合には、関係課長で構成している災害対策連絡室を開く。そして、事前のパトロールや事前に考えられる準備、協議をして実施をする。

問 災害が発生した場合は、どういう体制をつくられるか。

総務課長 土砂災害や地震、大きな災害が発生した場合には、町長を本部長とした災害対策本部を設置する。

職員には災害時の行動マニュアルを周知してあり、特に台風や豪雨あるいは火災、地震災害に対するそれぞれの災害ごとに対応策が決まっております。災害発生時にはこの

マニュアルに沿った対応をとるということになっている。

問 小学校、中学校、幼稚園等での災害訓練の状況は。

総務課長 現在、永平寺町の各小中学校においては、年間で2回から3回の避難訓練を実施している。その内容は、主に地震・火災を想定した避難、あるいは救助訓練となっている。

各幼稚園・幼稚園においては、マニュアルに基づいて地震・台風・火災等の災害を想定した訓練を、毎月1回行っている。

本庁を含めた役場の関係



防災訓練

の施設においても、年間に数回、避難あるいは消火訓練等を行っている。

問 各地域、集落等によつては防災に対する関心度に格差があるように

思われるが、指導的立場の町としてその対策はあるのか。

総務課長 現在、90の地域全てで自主防災組織を立ち上げていただいでい

る。その自主防災組織の活動については、地域によつて少し違いがある。全てが同じような形で取り組んでいただいでいるわけではない。今、自主防災組織の連絡協議会というものを各地区で設立していただくようにしている。

集中的な豪雨による町内の河川の防災対策工事の現在の状況と、危険箇所点検や、応急的な措置、付近の町民に対する情報の確かな周知の方法・手段等には万全を期するよう要望しました。

また、町の福祉施策について、この4月に福祉の担当の新課長として任命された福祉保健課長に、質問した。



長谷川治人議員

問 「生活安全・交通安全対策」 順次計画的に踏切改良を!

答 真に必要な踏切改良は実現化に努める

問 ①薬師踏切の改良が待たれるが。

②機能補償道は平成24年度末完成、中部縦貫道路（永平寺・大野）は平成28年度末完成。踏切を挟む南北を連絡するアクセス道路の構築は重要。今、消防署

統合の一本署体制のなかで、庁舎は永平寺支所の敷地内が最有力視されている。統合の体制作りの中で道路の果たす役割は最大。今のうちから意識的に備える必要がある。③個々の踏切には何らかの交通規制がかかっている。現在の道路状況や生



松岡薬師踏切

活様式の変化等、生活環境を配慮すべきだ。中部運輸局や関係機関に対し行政主導を発揮して、計画的に改良を進めて頂きたい。**建設課長** ①車やバイクが通行のためには、踏切から接続する国道416号への道路線形や高さ等の変更が課題となる。今後地域の状況や交通量の推移を見極め関係機関とも十分協議していく。**企画財政課長** ②永平寺口駅周辺における、レンガ館東側のえちぜん鉄道の南北を連絡する踏切改良については、今後地元

のご理解・ご協力を頂きながら検討していきたくい。**副町長** ③個々の踏切道の交通量の実態を十分見極め、また、その踏切道を改良することが事故防



地域福祉ガイドブック

答 社協と連携し推進する

問 「小地域福祉委員会」の 設置推進を!

問 当委員会の役割は、福祉を取り巻く現状からみて大変重要なもの。役割のなかに、災害時の要援護者台帳の作成がある。従来、個人情報保護のために情報の入手が困難だった。当委員会を組織すれば民生委員等との情報が共有でき問題も解消される。一日も早い全集落の設置を望む。**現時点で設置数は?**
*設置の為に、今年度目標は立てているのか?
福祉保健課長 *8月31日現在、松岡地区17、永平寺地区13、上志比地区10、合計40地区が設置。
*年次目標はない。
*各集落1委員会が理想だが、世帯数の少ない集落では近隣集落合同での設置を促し、社会福祉協議会と連携して推進に努める。

止や交通の円滑化に資するのかを十分検討し、地域にとって真に必要な踏切改良については中部運輸局等関係機関へ要望し、その実現に努めていきたい。

問 「自主防災連絡協議会」 年内立ち上げを!

答 「集落間で温度差」 早期設立に努める

問 自主防災について、地区内で色々な悩みがあるようだ。連絡協議会ですといった問題を共有し合う事は有意義なこと。年内の今期区長任期中の早期立ち上げは出来ないか。
総務課長 自主防災組織の代表者あるいは区長と十分協議しているが、集落単位で温度差がある。今後関係部署と協力し地域に向き、設立に理解を頂くよう要請してい

問 「防災行政無線整備」 ケーブルテレビとの連携を

答

防災情報の テレビ・テロップ表示を検討する



原田 武紀 議員

問 6月に坂井市三国町全域で、地震・津波避難訓練を実施、その検証会で約70%の住民が、「防災無線屋外スピーカーの音が聞こえなかった」の結果が報告された。町の説明では、屋外拡声スピーカーの音がよく聞こえなかった時の対策として、「電話での再確認機能」を付加、電話で内容を確認できるとのことだが、電話は8回線のみで、町民からの一斉電話には対応できないのではないかが危惧される。「テレドームサービス」加入は考えているのか。

総務課長 「テレドームサービス」は、一本の回線で、同時にたくさんの方に情報を提供できるが、別途経費も必要なの

問 本年5月に「今年度の職員退職と採用人数、また来年度以降の職員数の計画について」説明があった。「現在の職員数は264名で、合併スタート時から44名減である。また、来年度は退職予定者16名、新規12名で、4名削減の260名体制となる。今後は、この260名体制を基準としたい。」との内容である。

答

合併協がモデルにした町とは状況の違いがある

問 本年5月に「今年度の職員退職と採用人数、また来年度以降の職員数の計画について」説明があった。「現在の職員数は264名で、合併スタート時から44名減である。また、来年度は退職予定者16名、新規12名で、4名削減の260名体制となる。今後は、この260名体制を基準としたい。」との内容である。

総務課長 合併協議会が職員数削減の参考にしたのは、当時吉田郡三町村の人口とよく似た町ですが、本町は支所方式の導

問 合併協定で決めた「職員削減計画」の変更理由は

で、導入実績のある市町の話聞いて検討する。

問 防災無線屋外スピーカーの補完は、他にケーブルテレビと連動させて防災情報をテロップ表示で各家庭に流す。また、町のホームページへの表示、自主防災会隊長等へのメール配信、消防指令システムとの連携等があるが。

総務課長 提案の件は、今後、国、県の指導、先進市町の事例等を確認しながら、情報管理も含めて鋭意検討する。

消防長 消防指令システムと防災行政無線システムとの連携については、現時点では考えていない。



松岡地区に設置する屋外拡声局装置

入等、状況の違いがあり、単純には比較しがたい面もある。

また、新町では、子育て支援課、環境課、商工観光課等、新たな行政ニーズに対応する課も新設し、更に、県からの移譲事務も、合併後の約2.5倍に増えている。以上の様々な要因から今後は260名体制が適当と判断した。

職員削減の計画年度	職員総数(名)
合併前の3町村合計職員数 (平成16年度) (一般事務171・保育士66・消防職44・保健師10・その他46)	337 (基準)
新提示の平成25年度以降の職員数 (平成25年度以降) (一般事務130・保育士55・消防職36・保健師9・その他30)	260 (△77)
合併協提案の10年後の職員数 (平成28年度)	267 (△70)
合併協提案の15年後の職員数 (平成33年度以降)	237 (△100)

◆「新町まちづくり計画」の合併前の職員数286名には消防職員44名・派遣7名は入っていない。従って286+44+7=337名(基準)となる。



小畑 傅 議員

異常気象での農業に及ぼす 渇水・豪雨対策は？

答 集落・土地改良区の要望書 頂ければ検討していく！

問 昨今の世界的な異常気象、地球上で日本を含めいろんなところで影響を与えている。最近では穀物市況の価格が上がって、今年の米の価格も上がるようである。約40日間、ほとんど雨が降らなかつたこの夏の暑さには閉口した。春から夏にかけてのゲリラ豪雨と夏から秋にかけての渇水対策を災害対策も含めてお考えをお聞きます。

農林課長 渇水対策の農業用水の供給は、河川水、谷水、溪流水及び地下水等から直接または池等に一時貯水して各圃場へ給水している。本町には26の溜め池施設があり、灌漑期の用水に備える役割をはたしている。ゲリラ豪雨対策について

も、これらの溜め池施設が一時的な出水を抑える役割を果たしている。これらの施設の整備には多額の費用と期間が掛かるが、要望書の提出等により、今後検討していく。



福井市重立地区の遊水池

問 本町のいじめ対策は？

答 毎月職員会議で協議を！

問 最近、大津市の中学生自殺事件が大きく報道され、いじめへの対応が課題となっている。本町の対策・対応はどうなっているのか。

教育長 本町のいじめは昨年は3件、本年は1件の報告を聞いており各学校ではいろいろ防止策を行っている。毎月、職員

会議では気掛かりな児童生徒がおれば、時間を設けて協議をし心配なことがあれば対策を講じている。いじめや悩みのアンケートの実施や、定期的

に児童生徒と担任が個人面談も行っている。いじめらしきものが見出されたら教職員が連携して早期解決にむけ行動する。

問 本町23年度末の財務状況は？

答 合併以降、改善の方向！

問 23年度末の起債（借金）残高と基金（貯金）状況はどれだけか。

問 一般会計の臨時財政対策債42億80百万円で2年前と比較して6億900万円増加して債務残高の50%を越えているが、考え方は。

企画財政課長 起債残高は一般会計で78億7600万円、特別会計では75億4400万円、一部事務組合の本町分は22億3000万円、合計176億2275万円となり、前年度より10億2000万円の削減となった。

基金残高の状況は地方交付税・町税等の増加により前年度より3億7700万円の積み増しで30億7600万円となった。その内

一般財源化できるもので後年度地方交付税で全額措置される有利な起債と考

える。

貯金(基金)合計	30億7625万円
財政調整基金	22億7982万円
減債基金	1684万円
ふるさと創生基金	7785万円
その他基金12本	7億0174万円
借金(起債)残高	176億2275万円
一般会計	78億7622万円
うち臨財対策債	(42億8085万円)
特別会計	75億4357万円
一般事務組合	22億0296万円

問 だれもが利用しやすい 健康福祉施設の支援を!



多田 憲治 議員

答

送迎バスの運行方法・費用など 方向性を協議している

問 今年5月の「議会で語ろう会」の吉野地区で、2、3人の方からのご意見で「泉質のいい温泉と聞いているが、我々吉野地区の高齢者は上志比の温泉まで行きたくても足がない。10人募ればバスが出ると聞いているが、小さい集落で10人は無理で誘いの世話する人もいない。一週間に一度でもいいので温泉施設までバスを出していただけないか」と。また、えちぜん鉄道利用とのセット料金は、という言う意見もあった。

もし、松岡渡新田あるいは松岡上吉野集落に泉質のいい温泉施設があったら、私も上志比地区高齢者の足を確保するため、そのような要請は当然かと思う。
町民は行政と指定管理者の区別が出来ない「10人募ったら行つてやる」と言う指定管理者の儲けに対する殿様商売の後押しをするのではなく、町民の健康増進を保持する目的ならば当初から週1バス運行を条件に入れたのか疑問を感じる。

指定管理者の示した年間の町から支出の金額にこだわらず、行政として観光客・町外客は二の次に考えても、町民の健康福祉施設であり、同じ町民である松岡地区・永平寺地区の高齢者が利用しやすい施策を真剣に考えているのかお尋ねする。

問 えちぜん鉄道沿線から離れている、吉野地区と志比南地区また、御陵地区と鳴鹿、志比北地区に週1回施設まで送迎バスを出せないのか。

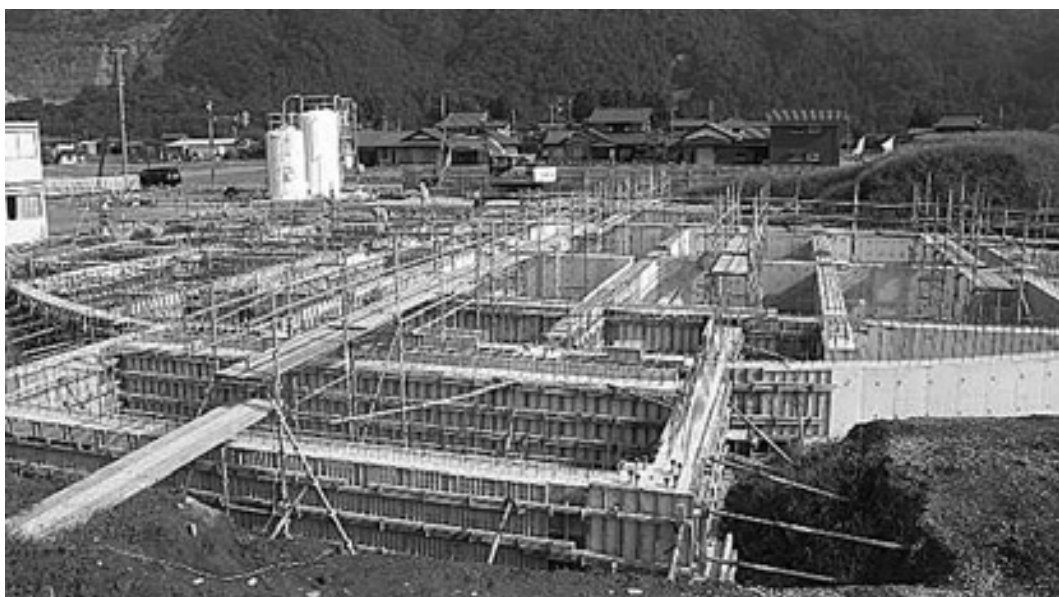
健康施設室長 送迎バスの運行方法やルート、新たに発生する費用など、どのような形でバスの送迎が可能かどうか、運営事業者を交え方向性を協議している。

問 公共交通機関であるえちぜん鉄道利用者に対し、施設利用券の割引も検討していくのか。

健康施設室長 えちぜん鉄道沿線の入浴施設、勝山温泉センター水芭蕉、芦原温泉セントピアあわら、三国温泉ゆあポイントが、えちぜん鉄道利用者に対し割引した温泉利用券の発行を行っている。当健康福祉施設についても、えちぜん鉄道や運営事業者と今後協議していく。

問 温泉施設利用者が山王駅を下車した場合、施設までの町のコミュニティバス時刻表を検討出来ないのか。

総務課長 松岡地区・永平寺地区のコミュニティバス利用者が一番集中しやすいようなところを想定し、もし出来るのであれば、そこを出発点として健康福祉施設まで送迎



建設中の健康福祉施設

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



川治 孝行 議員

問 機能補償道路の開通式は？

答 開通式・式典は今後考えていきたい

問 計画

から完成ま

では地域

住民、地権

者の心情等

に対して配

慮が必要か

と思うが、

どのような

配慮が必要

だったか。

建設課長

道路計画に

関する諸条

件は地権者

及び区長、

対策委員会と

協議し、地元の意見を詳

細設計に反映してきた。

問 地権者を初め、沿線

住民は難題・難問の懸案

事項をクリアし、開通を

迎える日は万感胸に込み

上げるものがあると思う

が、そうした住民の思い



機能補償道路



をどのように受け止め、どのように対応するの
か。
建設課長 貴重な財産を
提供して頂いた地権者の
熱意や、様々の問題にご
理解とご協力くださった
方々のご苦勞を重く受け
止め、地域の活性化や観
光資源の有効活用など、
道路を活かした町づくり
を進めていくことが大切

だと感じている。
問 一時は計画の断念を
も検討された難関の工事
が、来春には開通の日を
迎えるが、各地域の事業
対策推進委員に対しての
想いは。
建設課長 事業推進に当
たり、地区内の調整や課
題の解決、地元説明会の
開催など、関係者の方々
にはご尽力を賜り、目標

生涯学習課長 各々の地
区の特徴は若者達及び転
入者に対し説明は特にし
ていない。
問 高齢者の方々の豊富
な知識をどのように伝え
ていくのか。
生涯学習課長 高齢者の
豊富な知識を伝えること
は大変重要な事です、放
課後児童クラブ等の活用
が有効な方策かと考えて

併時の最重要課題であ
り、地域の生活向上など
色々な面で重要な路線で
ある。今完成を間近に控
え、感慨深く有り難く思
っている。開通式及び式
典については今後考えて
いきたいと思っている。
町長 機能補償道路は合

問 わが郷の教科書づくりを 提案する…

答 福井県の祭り、
行事調査を活用し作成する

いる。

問 町内各地域の紹介を
どのようにして若者達に
伝え移住者に説明してい
るのか。
生涯学習課長 「地域毎のルール」を一

冊のガイドブックで地域
の特色が分かる「わが郷
の教科書」づくりを提案
致したいと思う。
生涯学習課長 わが郷の
ガイドブックについて
は、区長会に対し、県の
祭り行事調査の基礎調査
を依頼しており、調査結
果を活用し、ガイドブッ
クの作製に努めたい。



外国資本による 森林買収が全国的に増えているが

答

不在者調査しながら検討し、 県条例制定の動きが始まっている



酒井 要 議員

問 全国で北海道ほか6地区で中国人ほかの国からの買収が786ヘクタールになっている。永平寺町には町外地主の方が575名いるが、この不在者が狙われる可能性があり、町として把握をすべきである。情報をつかんで何らかの手を打つ必要があると思うが。

農林課長 本町としても県と協議し、不在者については調査しながら検討していきたい。

問 町には水資源も永平寺川、犀川、吉峰川その他多くあり、水資源も狙われている。山には歴史があるが、木材の価値の低迷等で人がどんどん山から離れていく。町として今後どう取り組んでいくのか。

農林課長 外国資本の森林買収の占めについては全国レベルで問題となっており、本町の総面積の73%が林地山林となっている。県の森づくり課によると、国の法整備が遅れているために自由に土地売買が出来ること。平成23年4月から森林の土地を取得した方は町長への届け出が必要と義務づけられた。林家の高齢化と後継者不足等、非常に状況が悪くなっている。本年度より公団分収造林事業や、一般造林事業を計画しており、吉田郡森林組合と連携しながら森林整備したいと考えている。

問 山形県、群馬県、長野県と外国



永平寺ダムから見た大仏寺山

資本に買収されている。町としてしっかり監視の目をつくっていただきたい。

町長 県のほうでも非常に重要な課題として取り組んでいる。特に森林組合ほか関係者との情報提供等の連携を深めていかなければならない。町においても県とも十分話をしており、県も条例制定等で動きが大きくなっている。そういうことを含め十分対応していきたい。

問 先般、身体障害者協会が研修旅行を一泊で行った時、昼食時100人程度でも食事ができるレストランで洋式トイレがなく、足、腰の悪い会員が大変困った。町内の公共施設はどんな状態か。

監理課長 不特定多数の人が利用する公共施設では、洋式トイレ、身障者用トイレがほぼ設置されている。今後洋式トイレに改修することが望ましい場所は計画的に改善していきたい。

問 山王駅も洋式への改善が望ましい。また、観光客を誘致するにも民間食堂等にも必要と思うが。

問 まだ65%できていない。観光協会、観光課として今後努力し、永平寺町に来た方が心地よく過ごせるようにしてほしいと思う。



えちぜん鉄道山王駅のトイレ

問 本町内の公共建物のトイレは和式か洋式か

答 今後の満足度を考え施設の改善が必要

農工観光課長 門前のほうでは35%、本山では40%洋式化されている。今後観光地としての満足度の向上を考えると、トイレも含め施設の改善は重要な課題である。



河合 永充 議員

問 町内事業者に、温泉成分の公開、有効利用を

答 町民に情報を流せればと考えている

問 永平寺温泉の成分は非常によい。町が成分を分析し公開し、町内事業者がこの温泉水を使った商品開発に取り組んでいただければよいのではないかと健康施設室長 運営業

答 健康施設室長 運営業 者が温泉水を利用した商品の開発などを今検討している。化粧品などの開発など、肌につける商品や飲む商品などは制限が多く、現在、調査や検査を行っている。



建設中の健康福祉施設

問 温泉の権利は町に健康施設室長 商品の開発について、運営業者とともに町も開発に取り組み町民に情報等を流せればと考えている。



ある。運営業者が独占してしまふ可能性がないか。運営業者が成分の分析等をしたとき町の事業者に公表し、町民が利用できることを考えているか。

健康施設室長 ソーシャルネットワークキングサービス等、今後も情報のネットワークキングを活用しながら、いろいろな情報を提供していくことを考えていく。

問 先進地では、スマートフォンを利用してオンデマンドバスの効率化や

商工観光課長 ソーシャルネットワークキングサービス等、今後も情報のネットワークキングを活用しながら、いろいろな情報を提供していくことを考えていく。

問 先住地では、スマートフォンを利用してオンデマンドバスの効率化や



facebook ページ (左: あわら市, 右: 永平寺町議会)

問 各世代・ターゲットにあつた情報発信を

答 検討していきたい

問 世代間によって、町の情報を受け取る手段が違ってきている。紙面、テレビも有効な手段だが、新しい情報発信も大切であると考えている。先進地ではフェイスブックいわゆるソーシャル・ネットワークを取り入れて情報発信を行っている。

商工観光課長 今後、スマートフォンを活用についても、セキュリティの面、運用面等を視野に入れ前向きに研究、検討していきたい。

そういった町内外の方に、この住みやすい永平寺町の魅力を発信するため、テレビCMで当町の取り組みをアピールしてはどうか。若い世代で家を建てようとして考えている人たちは永平寺町に住むことを一つの検討材料として考えられると思うが。

企画財政課長 提案のテレビCMにつきましては視聴者に大きなインパクトを与える。これについては将来的には検討していきたいと考えている。

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。

問 町長の言う地域それぞれの課題とは？

答

いきなり示してやるというのは不謹慎だと思っている



金元 直栄 議員

問 町長は、上志比での温泉建設取り組みの中、町内からあまりの不評の声に、「それぞれの地域には、それぞれの課題がある」と言い温泉を進めてきた。第一に、それぞれの地域の課題とは、役場内どの部署で整理されているのか。第二、それらの課題が、各地区でどのように取り組まれているのか。議会に示してもらいたい。

町長 それぞれの地域には歴史があり、伝統や生活様式がその中でつくられてきた。小さい町でもそれぞれに小学校の状況も違い、課題もある。それらを見極め進めることが町の発展につながると思いい、町政を預かっている。どの地域もよくなら

なければと思っている。いきなり出してやるというのも不謹慎だと思っている。

問 学校支援員や補助員はどうなる？

答 必要な人員は確保していく

問 学校のクラス運営や子どもたちへの支援に、国の緊急雇用対策の補助金で人員を確保してきたが、国の補助事業の終了にともない、人員確保を本町ならどうするのか。

学校教育課長 現在、特別・教育支援員は、それぞれの学校に17名配置され、内2名が緊急雇用対策事業による配置で、新年度も必要な人員は、県や町に要望していく。

企画財政課長 今後はそういうことになれば、予算化したい。

問 浄法寺地区からの小学校がなくならない対策はどうか。旧吉野地区にも危機的な時期があつた教訓も踏まえ、質問を準備した。

浄法寺小学校は、年々生徒数の減少が続いている。若い人も地区外に出て行くことに地域の人々も心を痛めている。町としては、この状況をどのようにつかんでいるのか。

学校教育課長 北小の生徒数はH14年度62名、現在は40名。小学校区内六地区の人口は、H14年1053人、現在908人である。

問 小学生が40名とは大変な状況だ。若い人がこの地域から出ていく原因調査はされているのか。

地域対策は地区に相談する程度ではなく、町が積極的に取り組まないと進

問 浄法寺地区の人口増と小学校対策は！

答 地域に入り相談している

まなひ。

企画財政課長 出ていく人の調査は今後考える。町では、若者定住促進支援や子育て支援制度など各種事業を実施している。

町長 北地区にも時々行き、話をしている。条件の良いところで小規模住宅開発ができないかと話している。

問 大きな住宅地造成は元村の人たちが警戒する。地域の実態に合った開発こそ必要だ。旧松岡では元村と開発地区住民との間にあつれきの残ったところも多い。ぜひ吉野地区での取り組みを教訓にしてもらいたいし、取り組みは全庁の知恵で進めるべきだ。

町長 住宅造成とか宅地開発では、土地の提供が一番の課題となる。そう進められるように、町として応援していく。



人口減少が懸念される地域の小学校・幼稚園



川崎 直文 議員

問 ごみ排出量の削減、リサイクル率の向上の実績は

答

ごみ排出量5%削減、リサイクル率18.7%(H22年度実績) 生ごみの水切り、集団資源回収を促進する

問 「町環境基本計画」でのごみ排出量の削減、リサイクル率の向上の平成29年の目標は。現在の実績は。

環境課長 平成29年のごみ排出量の目標値は690g／人・日。(平成18年度の810g／人・日から約15%減量の計画。)平成22年度の排出量の実績は769g／人・日で4年間に約5%の減量。

リサイクル率の平成29年度の目標値は27.5%。



資源となる容器包装プラスチック

(平成18年度は17.5%)平成22年度の実績は、18.7%。

生ごみの水切りによるごみの減量化、廃食用油や小型電子機器等の分別や集団資源回収の促進によるリサイクル率の向上により目標を達成する。

問 本計画の進行は環境管理システムのPDCAサイクルで管理する。

これらの基本施策の目標を年次展開し、毎年、チェックして、次のアクションを実施しなければならない。推進体制、チェ

ック体制は。

環境課長 町民、事業者、行政が連携、協働して取り組んでいる。庁内推進会議が進捗を取りま

とめ環境審議会に報告する。環境審議会が進捗状況を点検し、必要に応じて意見を述べる。

次環境審議会を、1月ごろに開催し、平成23年度の実績をチェックする。

問 アブラギリ活用プロジェクト、小水力発電プロジェクトのこれからの取り組みは

答 成分分析し活用(アブラギリPJT)永平寺川ダムの小水力発電、県と協議(小水力発電PJT)

問 「町地域新エネルギー・省エネルギービジョン」の目標と実績は。

環境課長 温室効果ガスを平成31年度までに平成19年度の排出量の10%削減を目標とする。

っている。搾油し、成分分析し活用に取り組む。産業化は明確になっていない。

現在、本町における小水力発電の可能性調査を実施している。調査結果を踏まえ、県の「1市町1エネおこし」に來年度からの参画を目指す。

新エネルギー重点プロジェクトは、太陽光、アブラギリ活用、小水力発電の3つ、省エネルギーに関するプロジェクトは省エネ情報発信や公共交通機関の利用促進等6つ。

問 油桐の搾油の産業化は、的確に判断すべき。小水力発電プロジェクトはどういう状況にあるのか、そしてこれからの計画は。

環境課長 永平寺川ダムは県の所有物で、町単独で小水力発電事業は起こせない。県と協議し進める。

問 アブラギリ活用プロジェクトの実績と今後の計画は。

環境課長 苗木を植栽・育苗し、油桐の研究を行



小水力発電が計画されている永平寺川ダム

問

防災無線とこしの国TVとの連携で 放送内容を確認できるように!!

答

うまく連携がとれるように対応していく



上田 誠 議員

問 防災行政無線は現在上志比、永平寺地区です。今年、27年に総額2億7百万円で再整備され町内全域で整備。この整備で松岡地区の避難所には戸別受信機が配備される。上志比、永平寺地区の避難所や小中学校、幼稚園、図書館や公民館などの施設にも配備が必要でないか。アナログからデジタルの移行も計画的に。

総務課長 デジタル化に伴い3地区で導入に必要な避難所や公共施設への配備、デジタル設備の移行も十分に考えていく。

問 屋外スピーカーの放送内容が聞き取りにくいという苦情がある。今整備でこしの国TVの放送でその内容が再確認で

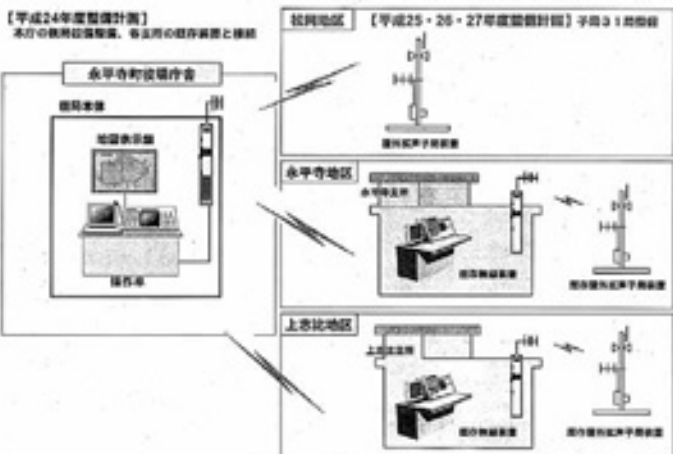
き、緊急時には自動配信をすべきではないか。

総務課長 防災無線とこしの国TVが連携をうまくとれるよう検討している最中であり対応していく。

アルも新しく見直していく。

問 今年、28年までの中期財政計画の中で各種事業（整備等）は総額29億円以上、起債残高（借入）は180億円前後、起債償還（返済）も毎年18億円前後となる。財政的に急迫するのでは。

企画財政課長 中期財政計画でも示したように、現状と比較しても計画期間内には大幅な増加はない。



永平寺町防災行政無線整備工事 年度別整備概要図

問 消防新体制の再整備に伴い、災害発生時の状況に対応したシミュレーションやマニュアルの整備が必要であるが。

総務課長 現在地域防災計画の見直しをしている。具体的な行動マニュアルも新しく見直していく。

問 今年、28年までの中期財政計画の中で各種事業（整備等）は総額29億円以上、起債残高（借入）は180億円前後、起債償還（返済）も毎年18億円前後となる。財政的に急迫するのでは。

企画財政課長 中期財政計画でも示したように、現状と比較しても計画期間内には大幅な増加はない。

問 平成20年度から新しい健診制度が実施され、5年計画の「特定健診実施計画」が策定され、今年で5年目となる。目標値は健診受診率で23年度55%、24年度65%、保健指導率で23年度40%、24年度45%である。現状の実績は。

住民生活課長 20年度の受診率は27%、23年度は約40%、指導は20年度17%、23年度末で約20%であり、県下では第3位の健診率となっている。

問 モデル地区での受診率の実績をもとに、さらなるUPを図り、各個人の目標設定の応援体制として「個人の目標チャレンジ登録制度」を創設し、町や地区、学校や家庭などで実施してはどうか。

福祉保健課長 個人目標は現在糖尿病の予防教室で24名の方が実践している。今後も住民の皆様とともに健康づくりに取り組んでいく。

問 町民の健康を守る健診制度の受診率UPと保健事業の充実を!!

答 目標には達しないが、県下第3位の40%の実績

問 保険計画「元氣、長生き、11（いい）プラン」の行動計画のモデル地区の内容を見ると、5条「意識して体を動かす」10条「年一回は受診する」を実践目標としている。現状は。

福祉保健課長 モデル地区全体ではあるが、22年度789名、23年度817名の参加があり、健康づくりの充実が図られている。



松川 正樹 議員

問 いじめ問題 —永平寺町もみんなで考えましょう

答 子どもの縁で集まった大人たちが、 子どもとともに社会性をつけていくことも大切

問 文科省の「学校におけるいじめ問題に関する基本的認識と取組のポイント」を読んだが、重大な欠落があった。そもそもいじめがなぜ起きるのかという原因究明の視点だ。

子どもは何故より弱い子どもをいじめめるのか。そこから始めよう。

みんなで考えよう。ただちに地域を挙げて取り組む必要がある。

永平寺町は昨年3件、今年は1件ということだけだがもう少し内容も具体的に言えないか。

教育長 今の子どもは少子化と核家族の中、余り社会性がついていない。遊びも孤立している。人間関係をつくっていくことが苦手で、集団生活

うまくやっていけない。格差社会で努力しても報われず、ストレスが大きい。そのストレスがいじめに向かうのではないか。

P T Aと地域にはぜひ協力をお願いしたい。

問 大成功だった子ども議会、 今後も続けていくべきと思うが

答 学校と協議し、さらに充実した子ども議会にしていきたい

問 私ども議会の方の協力の仕方は反省点もあるが、中学生自身は本当によく頑張った。偉かった。終わった時には自然と拍手をしていた。次の展開として高校生議会を

考えられないか。

学校教育長 参加した20名の中学生全員にアンケートを実施した結果、生徒からも一様に高い評価を受けた。高校生議会については「ぜひ参加した

めた体制を願う。もう一つは子ども自身にも聞くこと。子どもたちは真実を知っている。それと、子どもたちに我々大人は、さすが大人と思われる言動を日常的にとることが大事だ。

教育長 子どもの縁で集まった大人、P T Aや地域がいつしよに努力することは本当に大事だ。



子ども議会

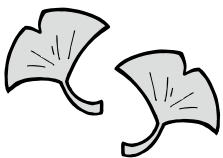
問 福井県の人口が100人に 80万人を割ったが、 我が町の対策は？

答 経済が悪い中だが、今後も何とか定住につながる方策をもっとこつていく

問 永平寺町はここ数年、人口は減っていたが、世帯数は伸びていた。しかし、8月1日時点ではマイナス65で6148世帯となった。強い危機感を持たざるを得ない。慌てた方がいい。民間に任せるだけではダメで、町が主体とならなければ。消費税率が上がる前がチャンス。

人口は結局パイの奪い合い。今、若い世代では町の子育て支援や教育環境は評判がいい。まだ他にも魅力はあるが、これらを、県内にP Rする「新ふるさと大使」を募集したらいいと思うが。

町長 そういうことも考えていきたい。今、企業誘致の話もあるが、なかなか簡単にはいかない。



問 朝、昼、夕、夜の時報をハープ演奏のオルゴールにしてはどうか

答 課題を調査・研究のうえ検討したい



渡邊 善春 議員

問 先の子ども議会を聞いていて感じたが、時報を知らせる曲を世界に誇れるハープ楽器工場がある町としてハープの曲利用が出来ないかお聞きする。

監理課長 ハープ音色に変更するには課題としてふさわしい曲があるか又機器の変更や著作権料などの経費が必要となる。今後調査、研究し検討したい。



耐震工事中の志比南小学校

問 本町の大きな事業の進捗状況は

答 議会に示した計画に基づき着実な工事の完成を目指し、利用促進につなげたい

問 松岡公園の工事も進んでいるが、来年の花見の時期には町民が集う様な状態になるのか。

建設課長 桜の開花を楽しみにしている町内外の方々のことを考えますと、一日も早く花見が出来るように全面的に開放したいところだが、現在の工事が断続的に続くこ

とを考慮すると、立ち入ることは不可能と思われる。しかし、工事区間外については、安全面も考え開放出来るところは開放したいのでご理解をお願いする。

問 永平寺線跡地遊歩道の整備において、舗装も随分見受けられるが、草が生い茂っているのを見ると誇れる遊歩道とは言えない。管理運営は今後、どのように考えているのか。

企画財政課長 毎年2回の草刈り作業を実施しているが、今年はずる状態の草が非常に多く管理に苦労している。最終的には町道として管理するものだが、今後地元の方々にもご協力を願いたいと考えている。

問 次に上志比地区での温泉施設建設の件だが、

道路際に永平寺温泉何月オープンとか知らせる看板を設置出来ないか。

健康施設室長 現在永平寺温泉のPR看板を設置する為の検討を行っている。永平寺温泉のロゴなどを書いて施設のオープン後の利用促進につなげられるよう、国道416号線の

問 特産物について

答 ブランド化のための情報発信や県内外での出向宣伝を行っている

問 子ども議会でも永平寺町の食の町を目指して欲しいとの質問が出ていたが、現在いろんなイベントで木っ葉寿しを販売しているの、早く商品化して県内外に販路を拡張出来ないかと思うがどうか。

農林課長 町の伝承料理として食育、地産地消連携会議や県農林総合事務所等と連携し、永平寺農

商工ブランド発信協議会を中心にブランド化のための情報発信をしている。又、県内外に向けて町独自の魅力や情報をアピールするため、出向宣伝も行っている。今後更に年間を通して提供できる研究や普及拡大の講習会などを引き続き実施していきたいと考えている。



跡地遊歩道草刈り

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



滝波登喜男議員

問 公共施設マネジメント白書の作成を急げ

答 公共施設と行政組織の再編に取り組む

問 将来、町の財政は厳しくなってくる中、学校や福祉施設などの公共施設の維持更新をどうするのかということが大きな問題となる。23年度決算で建物の総延べ床面積は、11万3157平米だが、何施設何棟あるのか。

監理課長 建物の施設数及び棟数については、正確な数値はつかんでいない。

問 神奈川県秦野市では、3年前に450余りの施設を対象に、更新時期と必要な投資額、人件費を含む経費や利用率などを調べ分析した公共施設マネジメント白書を作成し、既存施設も人口減少に合わせて40年間で3割減らすという方針も

出した。坂井市でも、144施設を対象に実態調査をし、7月7日に「公共施設のあり方に関するシンポジウム」を開催、市民に調査データを公開している。このように、住民の生活に密着した施設ばかりなので、十分理解いただくために時間をかけて説明する必要がある。早く白書づくりに取り組まなければならぬ。

総務課長 第二次行政改革大綱の中に、公共施設と行政組織の再編に取り組むこととなっている。経年劣化や老朽化が進んでいる施設もあり、今後の維持管理を考えることは非常に重要だ。また、町民の皆さんの気持ちや考えを十分把握しながら公共施設と行政組織の再編を進めていきたいと思



問 開発センターは昭和46年に建てられ、老朽化が進んでいる。建て替えや大規模改修の時期がそう遠くない施設をあえて消防庁舎として使うことが理解できない。増築部分の2

問 生命・財産を守る拠点の消防庁舎は二戸建てで整備を

答 既存の施設を有効利用したい

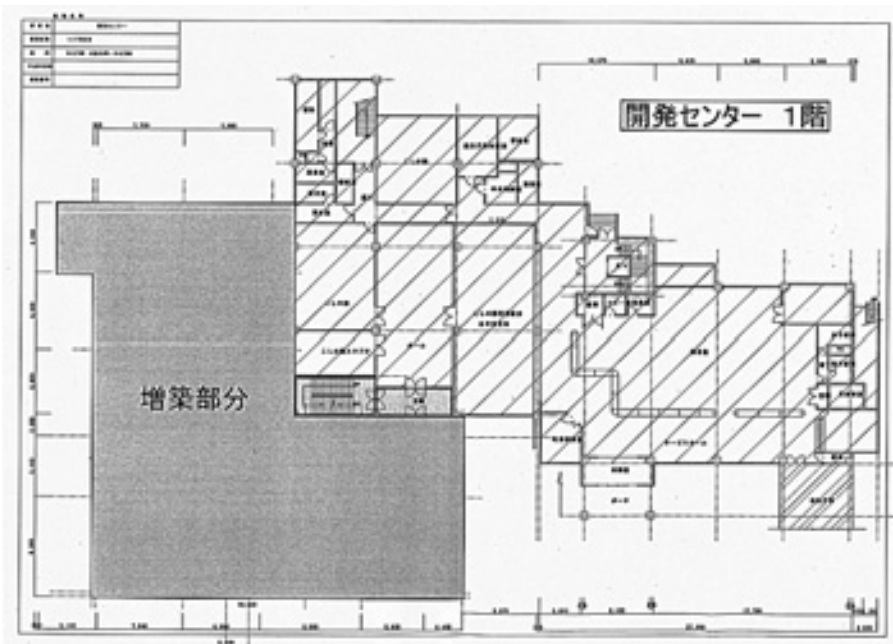
問 統合する消防庁舎は、永平寺支所横の開発センター2階部分と増築部分とする計画であるが、図面をみると開発セ

ンターの玄関を覆うように増築部分が建てられる。これでは開発センターの玄関を封鎖するのか。

消防長 開発センターの正面玄関前に消防の出入り口をつくり、開発センター利用者、その出入り口から出入りしていただくというふうに考えている。

文な一戸建ての建物として整備すべきである。

町長 公共施設がいくつもあり、できるだけ有効利用していきたいと思っている。開発センターを耐震化し十分活用できるのであれば計画どおり進めたい。



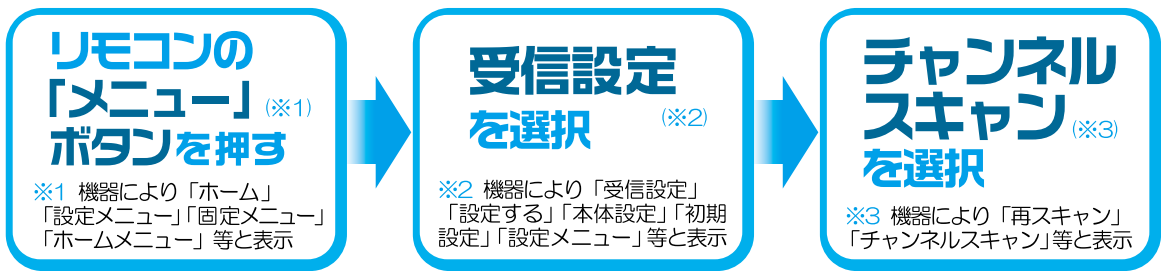
新消防庁舎1階平面図 (予定)

地デジ092ch 行政 チャンネル 週間番組表

■放送期間
2012年
10月25日(木)～
10月31日(水)

時	10月25日(木)	10月26日(金)	10月27日(土)	時	
8	00 町長招集あいさつ	00 一般質問(2日目午後③) 渡邊善春議員 滝波登喜男議員	00 一般質問(1日目午後①) 長谷川治人議員 原田武紀議員	8	
9	17 文字告知放送	52 文字告知放送	45 文字告知放送	9	
10	00 一般質問(1日目午前) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 齋藤則男議員	00 予算決算常任委員会①	00 一般質問(1日目午後②) 小畑傳議員 多田憲治議員 川治孝行議員	10	
11	55 文字告知放送	05 文字告知放送	26 文字告知放送	11	
12	00 一般質問(1日目午後①) 長谷川治人議員 原田武紀議員	00 予算決算常任委員会②	00 一般質問(2日目午前) 酒井要議員 河合永充議員	12	
13	45 文字告知放送	00 文字告知放送	41 文字告知放送	13	
14	00 一般質問(1日目午後②) 小畑傳議員 多田憲治議員 川治孝行議員	00 本会議	00 一般質問(2日目午後①) 金元直栄議員	14	
15	26 文字告知放送	40 文字告知放送	11 文字告知放送	15	
16	00 一般質問(2日目午前) 酒井要議員 河合永充議員		00 一般質問(2日目午後②) 川崎直文議員 上田誠議員	16	
17	41 文字告知放送		51 文字告知放送	17	
18	00 一般質問(2日目午後①) 金元直栄議員		00 一般質問(2日目午後③) 松川正樹議員	18	
19	11 文字告知放送		02 文字告知放送	19	
20	00 一般質問(2日目午後②) 川崎直文議員 上田誠議員	00 町長招集あいさつ	00 一般質問(2日目午後③) 渡邊善春議員 滝波登喜男議員	20	
21	51 文字告知放送	17 文字告知放送	52 文字告知放送	21	
22	00 一般質問(2日目午後③) 松川正樹議員	00 一般質問(1日目午前) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 齋藤則男議員	00 予算決算常任委員会①	22	
23	02 文字告知放送	55 文字告知放送	05 文字告知放送	23	
時	10月28日(日)	10月29日(月)	10月30日(火)	10月31日(水)	時
8	00 予算決算常任委員会②	00 一般質問(2日目午前) 酒井要議員 河合永充議員	文字告知放送	00 一般質問(2日目午後②) 川崎直文議員 上田誠議員	8
9	00 文字告知放送	41 文字告知放送		51 文字告知放送	9
10	00 本会議	00 一般質問(2日目午後①) 金元直栄議員		00 一般質問(2日目午後③) 松川正樹議員	10
11	40 文字告知放送	11 文字告知放送		02 文字告知放送	11
12		00 一般質問(2日目午後②) 川崎直文議員 上田誠議員	00 町長招集あいさつ	00 一般質問(2日目午後③) 渡邊善春議員 滝波登喜男議員	12
13		51 文字告知放送	17 文字告知放送	52 文字告知放送	13
14		00 一般質問(2日目午後③) 松川正樹議員	00 一般質問(1日目午前) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 齋藤則男議員	00 予算決算常任委員会①	14
15		02 文字告知放送	55 文字告知放送	05 文字告知放送	15
16	00 町長招集あいさつ	00 一般質問(2日目午後③) 渡邊善春議員 滝波登喜男議員	00 一般質問(1日目午後①) 長谷川治人議員 原田武紀議員	00 予算決算常任委員会②	16
17	17 文字告知放送	52 文字告知放送	45 文字告知放送	00 文字告知放送	17
18	00 一般質問(1日目午前) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 齋藤則男議員	00 予算決算常任委員会①	00 一般質問(1日目午後②) 小畑傳議員 多田憲治議員 川治孝行議員	00 本会議	18
19	55 文字告知放送	05 文字告知放送	26 文字告知放送	40 文字告知放送	19
20	00 一般質問(1日目午後①) 長谷川治人議員 原田武紀議員	00 予算決算常任委員会②	00 一般質問(2日目午前) 酒井要議員 河合永充議員		20
21	45 文字告知放送	00 文字告知放送	41 文字告知放送		21
22	00 一般質問(1日目午後②) 小畑傳議員 多田憲治議員 川治孝行議員	00 本会議	00 一般質問(2日目午後①) 金元直栄議員		22
23	26 文字告知放送	40 文字告知放送	11 文字告知放送		23

リモコン⑫に「行政チャンネル」が映らない場合は…



お問合せ：こしの国ケーブルテレビ 0776-63-1231

皆様が普段から思っている
自由なご意見、お聞かせください!!
 テーマ以外のことでもかまいません
「町民の声」を町政に!

11月7日(水) 午後 7:30~

- 下月集落生活改善センター ●諏訪間ふれあい会館
- 山王農業構造改善センター ●芝原1丁目区民会館

8日(木) 午後 7:30~

- 越坂2ふれあい会館 ●野中集落生活改善センター
- 栢原生活改善センター ●市荒川集落生活改善センター

9日(金) 午後 7:30~

- 東古市ふれあい会館 ●光明寺集落生活改善センター
- 薬師ふれあい会館

10日(土) 午後 7:30~

- 上吉野集落生活改善センター

議会 語り会

11都庁のよい会場に
11来場ください。

テーマ ①消防署統合 ②健康福祉施設 ③議会活動と議員定数・報酬

議会・各委員会の議員出欠状況 (平成24年6月27日、平成24年9月19日)

○：出席 ×：欠席 △：遅刻・早退 -：員外 傍：傍聴 申：申事 研：研修

日付	開催委員会等	小畑 博	滝波 登喜男	金元 直栄	齋藤 則男	長岡 千恵子	原田 武紀	川治 孝行	川崎 直文	多田 憲治	上坂 久則	長谷川 治人	松川 正樹	渡邊 善春	河合 永充	上田 誠	酒井 要	伊藤 博夫
1	6月27日 議会改革特別委員会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	6月29日 全員協議会	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	6月29日 消防署統合推進特別(小)委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	7月4日 消防署統合推進特別委員会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
5	7月4日 議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
6	7月10日 議会運営委員会	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	7月12日 議会広報特別委員会	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	7月12日 教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	7月19日 議会広報特別委員会	△	×	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	7月20日 全員協議会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
11	7月31日 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	7月31日 臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	8月2日 議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	8月7日 教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	8月8日 総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	8月10日 議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	8月10日 産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	8月20日 議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	8月21日 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	8月21日 温泉利活用特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	8月21日 消防署統合推進特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	8月21日 議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	8月29日 議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	8月31日 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	8月31日 議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	8月31日 教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	9月5日 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
28	9月5日 定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	9月11日 定例会(一般質問1日目)	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	9月12日 定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
31	9月13日 定例会(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	9月14日 予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△
33	9月18日 総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	9月18日 教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	9月19日 産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	9月19日 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	9月19日 定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	9月19日 議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数	29.5	23	25.5	22.5	32	24.5	19.5	28	23	18.5	23	28.5	27	27	25	24	20.5
	会議回数	30	25	27	24	33	25	21	28	23	21	24	31	28	27	25	24	21
	出席率	98%	92%	94%	94%	97%	98%	93%	100%	100%	88%	96%	92%	96%	100%	100%	100%	98%

「開かれた議会」のひとつとして、町民の皆様に議会活動をより一層知っていただくため、議会・各委員会の議員出欠状況を随時お知らせいたします。

吉田地区更生保護女性会

会長 江守 和子さん(松岡吉野塚)にお伺いしました。

昨年の7月、吉田地区更生保護女性会が主催する「ケース研究会」に初めて参加してびっくり。参加数も多く、非常に活発に意見が交わされていたことには勿論、それ以上に、会のメンバーの方々のひたむきで生き生きした表情に心打たれました。分科会に分かれ、全体会もあり、助言者や記録者もいて、分科会の代表の方の発表もあり、何もかもが揃っている。久しぶりにオーソドックス(正統)な学習会の手法にふれて気持ちよかったです。いつまでもこの場にいたかった、そんな気分になりました。しかも後日、「吉田更女だより」とお礼状まで届きました…。

さて、会の活動は、更生保護活動と犯罪・非行防止活動と子育て支援活動の三本柱で成り立っています。子育て支援までウイングを広げているところが秀逸で、結果、年間の活動量は本当に半端ではないのです。聞けば会員数は今、ちょうど100人ということで、これもびっくり。会長は松岡吉野塚の江守和子さんで、4代目です。歴

代の会長は生田先生(故人)、川上先生(葵)、田中先生(吉野)と、地元では知らない人はいません。3人の先生方のかつての活躍のお姿が目には浮かびます。

今後も「ほっとけない精神」と「絆」をますます強くし、住民が「ありがとう。この町に生まれてよかった」と体感できる幸せな地域づくりに励みますとのこと。特に「ほっとけない精神」は地域再生のエネルギー源としていることには目から鱗です。まさに地域活動の原点を押さえている。

女性会なので入会できないのが誠に残念ですが、会の輪がますます広がっていくことを願います。



会長の江守和子さん

(松川 記)



更生保護女性会 総会



子育て支援活動

編集者のひと言

7月末に議会の組織替えがあり、議会広報委員会はそれまで11人で構成していましたが、6人になりました。少ない人数なので一致団結して町民の皆様にご満足いただける内容に精進してまいります。

まず、「議会終了後できるだけ早くお手元にお届けしたい」という委員長の意思を委員全員が達成すべく努力しました。もちろん、議員全員の協力があったことです。

結果として今まで翌々月の1週目に発行していたものが、翌月の3週目に発行することができました。

議会のホットな話題を温かいうちに是非お読みいただきたい、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

今月号より表紙の写真のテーマは、「永平寺町のがんばるマン・がんばるウーマン」で皆様に表紙になっていただくことを考えています。撮影に伺いますので何卒ご協力をお願いします。

(長岡 記)

議会広報特別委員会委員

- 委員長 松邊善春
- 副委員長 川正樹
- 委員 小畑直文
- 委員 河合永充
- 委員 長岡千恵子